

<評価基準・方法>

評価は項目ごとに、その達成度を3段階に評価して下さい。また、評価1を選んだ項目があれば、その理由を記入して下さい。

3：そう思う（十分達成できた、十分理解している）

2：ややそう思う（やや達成できた、やや理解している）

1：そう思わない（努力を要する、あまり理解していない）

1 一人一人に応じた指導

評価項目 観 点		評 価			
		小	中	高	全体
① 授業時数の確保	・授業時数の確保し、一人一人に応じた基礎的・基本的内容の定着を図ることができたか。	2.17	2.50	2.54	2.38
② 学力向上	・個別の指導計画を活用した授業を推進し、一人一人に応じた学力の向上を図ることができたか。	2.17	2.25	2.31	2.24
③ 教材開発	・児童生徒一人一人の障害や発達の状態に応じた教材の開発と活用の工夫がなされているか。	2.42	2.50	2.38	2.41
	・一人一人の障害や発達の状態に応じた学習環境の整備に取り組まれているか。	2.33	2.25	2.23	2.28
④ 児童一人一人の実態の共通理解	・一人一人の学習状況について、「個別の指導計画」をもとに、職員間で確認する機会が設けられているか。	2.33	2.25	2.46	2.38
	・一人一人の学習状況や学校生活について、職員間で確認する機会が設けられているか。	2.42	2.25	2.54	2.45
⑤ 児童生徒の実態把握	・将来の生活を見据えて指導方法や指導形態の研究を進め、個々の実態に合わせたよりよい支援がなされているか。	2.25	2.25	2.38	2.31
	・授業の過程で、個別及び一斉による学習活動に配慮しているか。	2.50	2.25	2.62	2.52
	・学習意欲を高め、自発的な活動を促すように配慮しているか。	2.42	2.50	2.62	2.52
	・児童生徒が成就感・達成感を得られるよう配慮しているか。	2.50	2.75	2.77	2.66
⑥ 児童生徒への対応	・カウンセリングマインドの精神で共感的理解をもって指導児童生徒の指導に当たっているか。	2.58	2.50	2.69	2.62
⑦ 重度化への対応	・障害の重度・重複多様化が進む中、一人一人のニーズに応じた教育の充実を図っているか。	2.42	2.25	2.54	2.45
⑧ 授業改善	・周囲の人のかかわりや集団における指導を充実させ、コミュニケーション手段の工夫や改善に努め、自己実現力や社会生活への適応力向上を図っているか。	2.42	2.75	2.38	2.45
⑨ チーム・ティ	・「個別の指導計画」に基づき、一人一人の教育的ニーズに応じた授業を実践しているか。	2.50	2.25	2.62	2.52

ーチン グ	・チーム・ティーチングの利点を生かした指導に努めているか。	2.67	2.50	2.69	2.66
改善点、評価1を選んだ理由等 1 II課程の生徒の教科指導を行う上で教室の環境など改善を求めたい。(隣の教室からの声で生徒が授業に集中できない)(高)					

2 個別の指導計画・個別の教育支援計画の活用

観 点		評 価			
		小	中	高	全体
①計画的な 取組	・個別の教育支援計画を反映した年間学習指導計画を立案し、実践・評価を行っているか。	2.42	2.50	2.62	2.52
	・個別の教育支援計画、個別の指導計画の理解・定着を図ることができるよう、説明会などを実施しているか。	2.08	2.25	2.31	2.21
②組織的・ 計画的な支 援	・「個別の教育支援計画」「進路支援の記録」による組織的・計画的な支援がされているか。	2.42	2.25	2.23	2.31
	・個別の教育支援計画の策定について、職員全体の理解は十分進んでいるか。	2.42	2.50	2.38	2.41
③保護者の かかわり	・「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」について、保護者と話し合いの場を十分に設けているか。	2.08	2.33	2.46	2.29
	・個別の指導計画を利用して教科等の個別化を図り、保護者に共通理解を得ながら指導を行っているか。	2.42	2.33	2.54	2.46
④関係機 関との連 携	・個別の移行支援計画に対応した関係機関と連携しているか。	2.25	2.33	2.00	2.15
⑥個別移 行支援計 画の作 成と活 用	・個別移行支援計画を活用しながら、進路体験等を計画的に実施し、個々の生徒に応じた進路支援の充実に努めているか。	2.25	2.33	2.00	2.15
⑦実態把 握	・一人一人の実態に即した教育課程が編成されているか。	2.50	2.50	2.46	2.48
	・個別の教育支援計画や個別指導計画に基づき、児童・生徒一人ひとりの障害の状態や発達段階、学習の意欲や進度等に応じたきめ細かい指導がされているか。	2.58	2.25	2.31	2.41
改善点、評価1を選んだ理由等 1「個別の支援計画」については、家庭訪問、2日の保護者面談で説明をしていると思うが「個別の指導計画」については、説明が十分でないと思う。(小) 2教師間または、保護者と話し合う時間がとれない。(高) 3対応した関係機関と連携しているとは言えないので。(高)					

3 実践面での専門性向上

観 点		評 価			
		小	中	高	全体
①授業研 究による 実践	・児童生徒一人一人の実態や教育的ニーズに応じた適切な指導が行われているか。	2.42	2.50	2.62	2.52

力の向上	・児童生徒の課題を的確にとらえて教材を製作し、授業に生かしているか。	2.33	2.50	2.46	2.41
	・障害等に応じた指導実践力を向上させるために、授業研究を推進し、それを踏まえた授業改善を行っているか。	2.25	2.25	2.38	2.31
②研究成果の蓄積	・研究物や事例集などにまとめ、情報を蓄積・発信しているか。	2.33	2.00	2.15	2.21
	・教材に関するデータの共有化（自作教材・教具集の充実など）が図られているか。	2.42	2.25	2.23	2.31

・専門性向上のための研修

①専門分野に関するスキルアップ	・専門分野に関するスキルアップという観点からの研修がなされているか。	2.42	2.50	2.62	2.52
②障害特性に応じた指導に対応できる専門性の向上	・専門分野のみならず、5障害種及び発達障害に関する特別支援教育全般にわたる研修がなされているか。	2.00	1.67	2.38	2.14
③報告会の実施と情報の共有化	・外部研修を個人で終わらせないために、報告会の実施と情報の共有化についての取組がなされているか。	2.58	2.50	2.54	2.55
④自校での研修	・特別支援教育に関する専門的資質や能力を高めるための各種研修会等が実施されているか。	2.67	2.50	2.85	2.72
	・研修会の工夫と充実に努め、研修会の実施の経過がまとめられているか。	2.67	2.25	2.77	2.66
	・教員一人一人が、自己目標達成のための専門的研修に努めているか。	2.50	2.25	2.77	2.59
	・外部講師を招いての研修を実施し、専門性向上に役立っているか。	2.83	2.75	2.92	2.86
⑤外部の研究会・研修会の活用	・名護療育医療センター等と連携し、障害児教育に関する研修会が実施されているか。	2.75	2.50	2.92	2.79
⑥新赴任教職員への研修体制	・新しく赴任した教職員に対する研修体制が整備されているか。	2.33	2.25	2.69	2.48

改善点、評価1を選んだ理由等

1 校内でも様々な研修がなされているが、5障害種及び発達障害に関する特別支援教育全般にわたる研修はやっていないから。(小)

2 医ケアに関する研修も入れて欲しい。担当だけではなく全員で共通理解が必要。(中)

4 相談体制

観 点	評 価
-----	-----

		小	中	高	全体
①外部の幼児児童生徒に対する相談への対応	・地域の要請に応じて、外部の幼児児童生徒に対する教育相談や支援に応じるなど、相談支援機能を発揮しているか。	2.58	2.50	2.50	2.54
	・外部からの電話相談・メール相談等に対応しているか。	2.67	2.50	2.42	2.54
②ニーズへの配慮	・地域の障害児者や相談者のニーズに応じた教育相談や就学相談が行われているか。	2.67	2.50	2.42	2.54
③相談の活用	・相談や支援を行った結果を把握、分析し、相談員の専門性向上に役立っているか。	2.33	2.50	2.33	2.36
	・教育相談活動を充実させ、他機関と連携して地域の学校や障害児者に対する支援センターとしての役割を果たしているか。	2.58	2.50	2.42	2.5
改善点、評価1を選んだ理由等					

5 センターの機能の充実

観 点		評 価			
		小	中	高	全体
①研修や指導への対応	・地域の特別支援に関するセンター的な役割を果たしているか。	2.50	2.50	2.42	2.46
	・特別支援センターとして研修や指導に協力しているか。	2.58	2.25	2.33	2.43
	・共通理解を図りながら、小・中学校等との交流及び共同学習の活発化を図っているか。	2.58	2.25	2.42	2.46
	・地域の特別支援教育のセンターとして、特別支援教育の理解推進と地域支援の充実を図っているか。	2.42	2.25	2.33	2.36
②体制整備	・センター的機能を推進するために、進路・地域支援のための充実・構成員・人材育成等の校内体制の整備が進んでいるか。	2.33	2.25	2.42	2.36
	・センター的機能充実のための体制整備が進んでいるか。	2.33	2.25	2.33	2.32
③連携度の評価	・センター的機能を発揮する学校として、学校は家庭・地域や関係機関との連携を密に図ることができたか。	2.50	2.50	2.58	2.54
④理解啓発	・センター的役割を推進するために、保護者や地域、他校への理解・啓発活動を実施しているか。	2.42	2.50	2.50	2.46
	・リーフレット、回覧板、新聞発行やWebを活用するなどして、効果的・効率的な情報発信が行われているか。	2.25	2.25	2.50	2.36
⑤巡回指導	・近隣の障害のある子どもたちに対して、巡回による専門的な指導を行っているか。	2.42	2.33	2.33	2.37

⑥開かれた学校づくり	・施設開放や学校公開・授業参観等が推進されたか。	2.67	2.50	2.58	2.61
⑦研修会の開催	・特別支援教育に関する専門性を高めるための研修の推進を図り，その充実に努めているか。	2.58	2.25	2.62	2.55
	・特別支援教育の推進を図るための研修会を充実させ，研修会・授業研究等が計画的に企画・実施されているか。	2.42	2.33	2.67	2.52
⑧校内体制の整備	・校内での他学部や他分掌等関係部署の協力・連携による支援体制の確立が進められたか。	2.25	2.75	2.54	2.45
⑨特別支援教育コーディネーターの活用	・特別支援コーディネーターの配置による相談支援機能の充実が図られたか。	2.58	2.75	2.58	2.61
	・特別支援教育コーディネーターを中心として，地域支援や関係機関との連携が図られたか。	2.67	2.75	2.58	2.64
改善点、評価1を選んだ理由等 1 中学部での地域との交流学习は、あまりない。(高) 2 巡回しているのか分からない。(高)					

6 地域の学校との連携

観 点	評 価				
	小	中	高	全体	
①交流及び共同学習の充実	・地域の小・中学校との「交流及び共同学習」の推進により，地域と共に学ぶ機会を大切にしているか。	2.50	2.25	2.58	2.5
	・交流を通して，児童生徒間や職員間の親交が深まったか。	2.42	2.50	2.69	2.55
	・両校で交流の目標が達成されたか。	2.33	2.50	2.62	2.48
	・学校間交流，居住地校交流，地域交流の推進が，児童生徒の社会性の育成に役立ったか。	2.42	3.00	2.54	2.54
	・学校間交流や居住地校交流の推進により，交流校と連携しながら障害者理解や相互理解が図られたか。	2.25	2.50	2.54	2.41
	・交流及び共同学習の意義や活動方針を教職員が共通理解し，実施できたか。	2.25	2.25	2.54	2.38
	・在籍校の教育課程上の位置付けを明確にし，計画的・継続的な交流実践を行うことができたか（教育課程）。	2.33	2.50	2.54	2.45
	・保護者が居住地校交流，共同学習の内容・方法等を理解し，交流及び共同学習の実施に満足しているか（保護者の満足度）。	2.25	2.33	2.62	2.43
②地域の小・中学校等のニーズへの対応	・小・中学校等のニーズを把握し，ニーズに応える支援体制を充実させることができたか。	2.00	2.33	2.25	2.15

③地域の学校への発信	・学校間交流や校外学習先での交流の様子について、保護者への情報提供を行っているか	2.42	2.50	2.42	2.43
改善点、評価1を選んだ理由等					
1 居住地校交流については保護者からは「やって良かった」等の感想をいただいているが、その趣旨やねらい、方法等に対する説明が不十分などところがあるので、次年度の希望調査を取る前に趣旨、狙い、方法等について十分説明を行う。(小)					
・居住地校交流の活動方針については、毎回担任が相手校に同行しているが「保護者と児童が将来の社会参加の基盤作りのきっかけにすると」という趣旨を踏まえて児童の実態等も考慮し、担任の同行は初回のみの方へ修正し、そのことを保護者に理解頂いた上で実施希望をとる。(小)					
2 他の特支との交流は出来ているが、地域での交流及び共同学習は出来ていない。(中)					
3 高等部ではよく分からない。(高)					

7 教育条件及び教育環境の整備

観 点		評 価			
		小	中	高	全体
① スクールバスの利用	・校外学習等を積極的に進めスクールバスの有効活用を図ることができた。	2.83	2.75	2.77	2.79
② 教育環境の整備	・校内緑化、環境整備を推進するとともに、安心、安全な教育活動が展開できる環境づくりに努めることができた。	2.58	3.00	2.85	2.76
③ 図書館教育	・図書館教育の充実を図り、掲示教育等の工夫改善を図ることができた。	2.58	3.00	2.62	2.66
	・教材・教具の工夫やコンピュータやiPad等の情報機器を活用し、授業の改善を図ることができた。	2.58	2.75	2.77	2.69
改善点、評価1を選んだ理由等					

8 保健教育、安全教育及び医療的ケアの充実

観 点		評 価			
		小	中	高	全体
① 保護者等との連携	保護者や療育医療センターとの連携を密にし、児童生徒の健康教育を推進することができた。	2.67	2.50	2.85	2.72
② 安全点検	・定期的な安全点検を強化し、安全な学習環境づくりに努めることができた。	2.50	2.75	2.77	2.66
	・児童生徒の健康、安全のため緊急時の救急体制を確立し、共通理解を図ることができた。	2.42	2.75	2.69	2.59
③ 医療的ケアの充実	・医療的ケアを必要とする児童生徒への教育環境の充実を図ることができた。	2.50	2.50	2.85	2.66
	・防災避難訓練の実施を通して、共通理解を図り緊急時の体制を整えることができた。	2.42	3.00	2.92	2.72
改善点、評価1を選んだ理由等					

9 保護者及び療育医療センターとの連携の充実

観 点		評 価			
		小	中	高	全体
① 療育医療センターとの連携	医教連絡会や広報活動等を通して、療育医療センターとの共通理解を深めることができた。	2.58	2.75	2.50	2.57
② 保護者との連携	授業参観、学校行事、学校便り等やPTA活動を通して保護者との連携を図ることができた	2.58	2.75	2.92	2.76
改善点、評価 1 を選んだ理由等					